

ファーマエッセンシア・コーポレーション

台湾証券取引所：6446

プレスリリース

即時発表

ファーマエッセンシア、TECH-Tokyo と連携し、第1回「ファーマエッセンシア・イノベーション・アワード (PhamaEssentia Innovation Award)」を開催

3月より始動— グローバル展開を目指すバイオメディカル系スタートアップを支援

台北（台湾）— [2026年3月29日]— PharmaEssentia Corporation（TWSE: 6446）は本日、グローバル市場での商業化ポテンシャルを有するバイオテックおよびヘルスケア領域のスタートアップチームを発掘・支援する新たな取り組み「ファーマエッセンシア・イノベーション・アワード」の創設を発表しました。第1回となる本アワードは、日本のイノベーション・プラットフォームである TECH-Tokyo と共同で実施され、台湾と日本のバイオメディカル系スタートアップチームを同時に募集します。これにより、バイオテック・ヘルスケア分野における台湾と日本の協働を促進し、革新的なバイオメディカル技術や製品のグローバル市場への展開を加速させます。

本アワードの応募受付は本日より開始されます。グランプリには10万米ドル、総額は20万米ドルの賞金が授与されます。ファーマエッセンシアは、本アワードが単なる研究資金提供にとどまらず、業界リソースの紹介や知識の共有を通じて、最先端技術の交流を促進し、スタートアップの臨床開発およびグローバルな商業化へと加速させることを目指しています。

急速に変化するグローバル製薬業界において、バイオテックのイノベーションは、もはや単一企業の内部研究開発にとどまらず、学際的・国境を越えた協働ネットワークから生まれる機会がますます増えています。「つながりを築き、協働を可能にし、イノベーションを推進する」という理念に基づき、「ファーマエッセンシア・イノベーション・アワード」は、学術研究力、スタートアップの推進力、国際的な産業リソースを結びつける国境を越えたプラットフォームの構築し、これにより、交流を促進し、価値を高め、将来的な戦略的協業の基盤を築くことを目指します。

本アワードは、ファーマエッセンシアの中核となる研究開発領域とグローバル展開戦略と密接に関連する戦略的分野に焦点を当て、革新的な治療法の創出を目指すスタートアップチームの応募を歓迎します。対象分野は、血液疾患、がん、希少疾患、自己免疫疾患における革新的な創薬研究、・AIや機械学習（ML）を活用した創薬・開発プラットフォーム、および *ex vivo* または *in vivo* の細胞治療技術プラットフォームなどが含まれます。審査員には、米国のハーバード大学の著名な専門家に加え、台湾および日本の産官学界・研究機関のリーダーが参加します。血液学、腫瘍学、免疫学などの専門性を有し、卓越した学術的業績と豊富な業界経験を兼ね備えたため、審査体制により、科学的革新性、臨床応用価値、グローバル市場での発展の可能性を総合的に評価します。

ファーマエッセンシアは、初開催となる「ファーマエッセンシア・イノベーション・アワード」を通じて TECH-Tokyo と協力し、革新的な研究開発、学術交流、産業応用の各領域における台湾・日本の協働を推進し、長期的かつ実質的な戦略的パートナーシップの機会を創出することを期待していると述べています。今後は、参加対象国をさらに拡大し、さらに多くの国からスタートアップチームを招待することでプログラムの規模を拡大する計画です。これにより、世界中の患者に革新的な治療選択肢を提供し続けるとともに、台湾バイオテック産業の国際的な認知度と影響力を高めていく計画です。

「ファーマエッセンシア・イノベーション・アワード」への応募方法などの詳細はこちら：

<https://tech-tokyo.org/pharmaessentiainnovationaward2026/>

ファーマエッセンシア・イノベーション・アワード お問い合わせ先

アニー・リン

E メール：annie_lin@pharmaessentia.com

TECH-Tokyo について

Technology Exchange and Collaboration Hub in Tokyo (TECH-Tokyo G.K.) は、世界的に著名な大学の教員や研究者、起業家、そして日本の企業、起業家、投資家、学術機関をつなぐことを使命としています。プレゼンテーション、講演、ワークショップ、ネットワーキングイベント、著名なゲストスピーカーによる講演、コンテストなど、多様なプログラムを通じて、TECH-Tokyo は、ライセンス供与、パートナーシップ、大学発ベンチャーへの投資、研究助成などを通じてパートナーシップを促進し、学術交流やエグゼクティブ教育の機会も提供しています。詳細については、<https://tech-tokyo.org/> をご覧ください。

PharmaEssentia Corporation について

PharmaEssentia Corporation (TWSE: 6446) は、2003年10月に新薬開発に深い専門知識を持つ著名な科学者チームによって設立されました。独自の PEGylation 技術プラットフォームを活用した長時間作用型バイオ医薬品の開発、先進的な低分子合成技術、多国籍の研究開発 (R&D) 協働モデルを基盤に、血液悪性腫瘍、慢性肝炎、重篤ながんに対する次世代型の革新的治療薬を開発しています。台湾に本社を置く同社は、創薬、臨床開発、製造、グローバル商業化までを一貫して担う統合型製薬企業です。詳細については、<http://www.pharmaessentia.com> をご覧ください。

将来の見通しに関する記述

本資料および同時に公開された関連情報には、将来の見通しに関する記述が含まれています。過去の事実に関する記述を除き、PharmaEssentia (以下「当社」) の将来の事業運営、発生しうる事象、および見通しに関するすべての記述 (予測、目標、見積もり、事業計画などを含みますが、これらに限定されません) は、将来の見通しに関する記述です。将来の見通しに関する記述は、価格変動、実際の需要、為替レートの変動、市場シェア、競争環境、法的・財務的・規制上の枠組みの変化、国際経済および金融市場の状況、政治的リスク、コスト見積もり、ならびに当社の支配の及ばないその他のリスクや変動要因など、様々な要因や不確実性の影響を受け、実際の結果は、明示または黙示された内容と著しく異なる可能性があります。これらの将来に関する記述は、現在の予測および評価に基づくものであり、当社は将来これらを更新する義務を負いません。

PharmaEssentia メディアお問い合わせ先

内藤 陽子

電話 : 080-8822-3135

E メール : yoko_naito@pharmaessentia.com